



# LINK84

for  
WORKFRAME 84

## オーナーズ マニュアル

© 2017 dotRed Audio Designs Co., Ltd.

Rev. J01

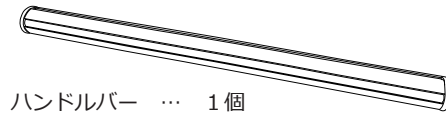
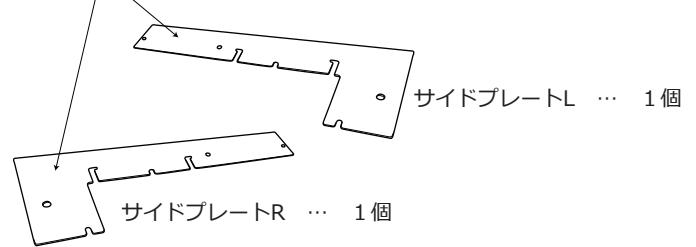
### 同梱品

はじめに、同梱品を確認してください。

オーナーズ マニュアル (本書)



※保護シートが貼られている面



ハンドルバー … 1個



M8ボルト … 2個



つまみネジ … 4個

出荷時に検品を実施していますが、購入時に大きな変形や傷が見られた際は、お買い上げのお店へご相談いただくか、弊社ホームページのお問い合わせページより、ご相談ください。

弊社ホームページ URL <https://www.dotred-audio-designs.com>

### 組立作業手順

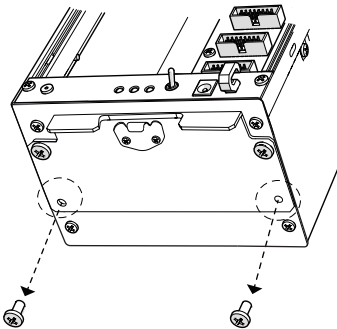
※取り付けには、プラスのドライバーが必要です。

電動ドライバーを使用の際は、クラッチ付きのものを使用し、締め付けのときに過度なトルクがかからないようにしてください。過度なトルクでネジを締めると、怪我や本体の破壊につながる恐れがあります。

※MASK84のフック付プレートが必要です。

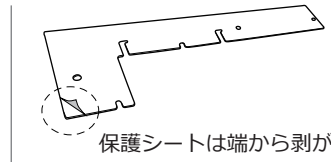
フック付プレートが WORKFRAME84 に取り付けられてない状態で本製品を取り付けると、強度が保てないため、怪我や本体の破壊につながる恐れがあります。それによって発生した傷害や故障・損壊について、弊社は責任を負いません。

- ① WORKFRAME84 の左右に取り付けられている MASK84 のフック付プレート固定ネジを一度、外します。図の2箇所だけ、左右とも外します。

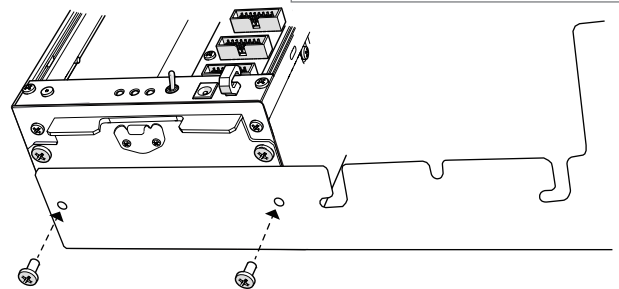


外したネジは次の手順で使います。

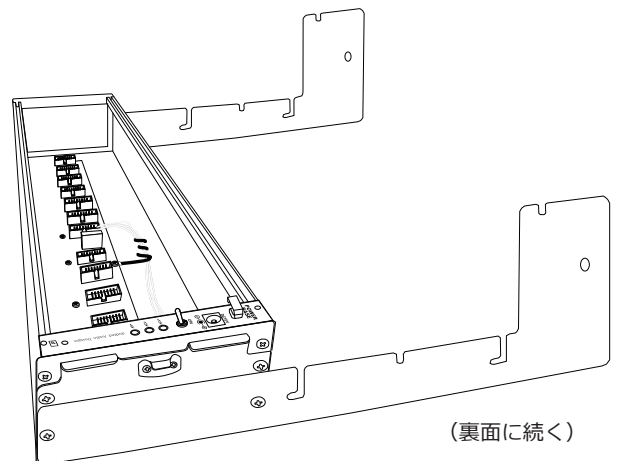
- ② 保護シートを剥がしたサイドプレート R を図のように当てながら、前の手順で外したネジでサイドプレート R を取り付けます。(まだ、ネジを完全に締め付けしないでおきます)



保護シートは端から剥がします。



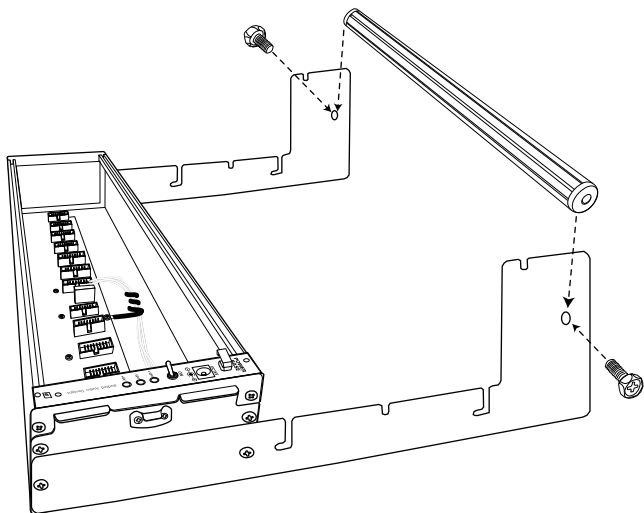
- ③ 反対側も同様にして、サイドプレート L を取り付けます。



(裏面に続く)

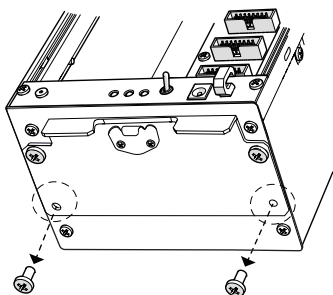
## 組立作業手順 (続き)

- ④ ハンドルバーを M8 ボルトで取り付けます。

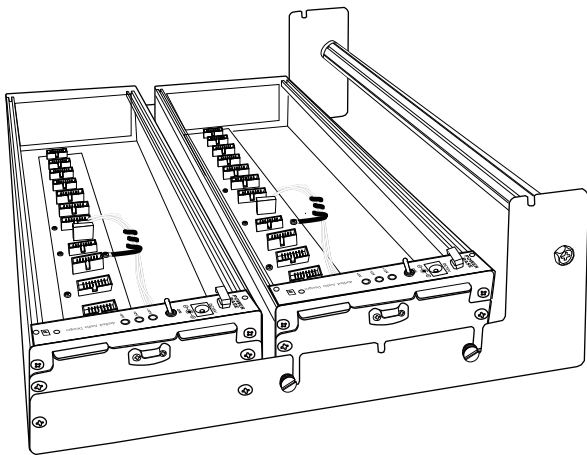


この状態で持ち上げるときは、必ず WORKFRAME84 本体を持って持ち上げてください。

- ⑤ 手順①と同様に、もうひとつの WORKFRAME84 も図で示す箇所ネジを取り外します。



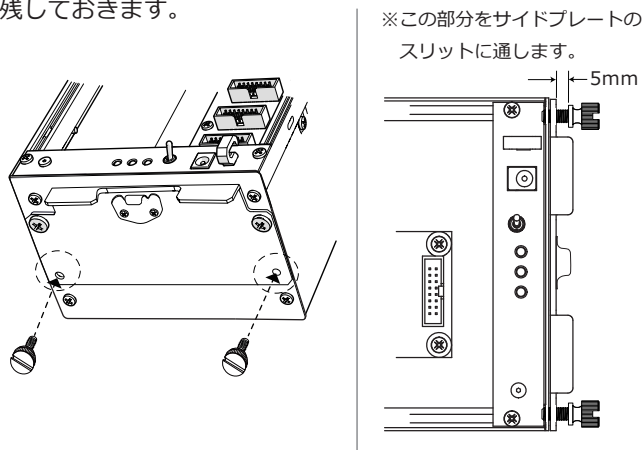
- ⑥ 平らな面に置いた状態で、サイドプレートを固定しているネジを締め付けて、完成です。



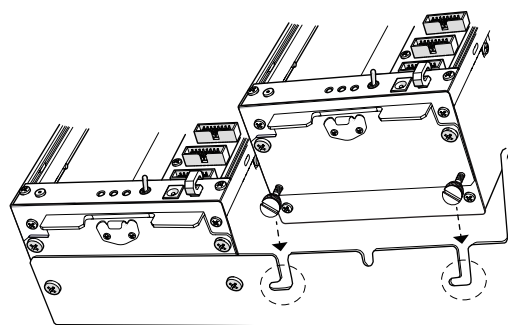
## ご使用上の注意事項

- ※皮脂や水分は定期的に拭き取らないと、塗装面が指紋だらけになったり、変色などを引き起こします。定期的に、乾いた柔らかい布で表面を手入れすることをお勧めします。
- ※必ず、すべりにくい平らな面へ水平に置いてご使用ください。すべりやすい面に置いたり、垂直(縦置き)に置いたりすると、怪我や製品の損壊を招くことが有ります。
- ※つまみネジを取り付けた WORKFRAME84 をチルト状態にするときは、MASK84 本体カバーは外してください。
- ※移動の際は、2 台の WORKFRAME84 が水平に並んだ状態にし、つまみネジを締め付けて固定した状態にしてください。

- ⑥ 取り外したネジの代わりに、つまみネジを WORKFRAME84 に取り付けます。つまみネジは完全に締め込まず、5mm 程度残しておきます。



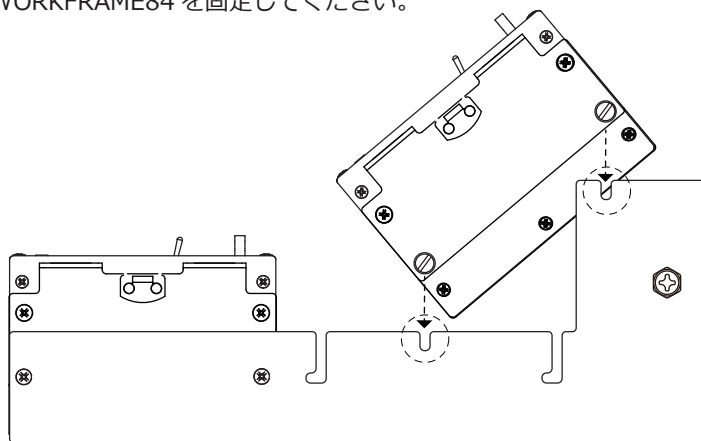
- ⑦ つまみネジの軸がサイドプレートのスリットに通るように、左右をこまめに確認しながら、"つまみネジを取り付けた WORKFRAME84" をセットします。



WORKFRAME84 本体をサイドプレートのスリットに対して垂直に降ろした後、手前へスライドさせてから、つまみネジを締めて固定してください。

## チルト状態にするには

つまみネジを少し緩め、WORKFRAME84 をサイドプレートから取り外し、図のようにしてサイドプレートの別のスリットへつまみネジの軸を嵌めます。その後、つまみネジを締め、WORKFRAME84 を固定してください。



- ※つまみネジの"くびれ部"(図の矢印で示した箇所)にサイドプレートが嵌まっていると、WORKFRAME84 を固定できません。必ず、ネジ部がサイドプレートに接するようにしてご使用ください。

